

公益財団法人日本刀文化振興協会

令和6年度事業計画

(令和6年12月1日～令和7年11月30日)

1. 公益目的事業（刀職者を対象とする事業）〈新公1-1〉

① 第16回刀職者実技研修会

会期：令和7年8月29日(金)～31日(日)の3日間

会場：坂城町中心市街地コミュニティセンター（長野県）

参加：6職種各5名程度 計約30名を予定

内容：日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

② 日本刀に関わる人材育成技能研修事業（刀剣修復特殊技能研修事業）〈新公1-1〉

（研磨・白鞘・白鞘・白銀・刀装具）※文化庁育成事業

会場：京都 北野天満宮（予定）

開催時期：未定

講師：予定5名 研修生：予定6名

③ 第15回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会〈新公1-2〉

主催：公益財団法人日本刀文化振興協会長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館

共催：信濃毎日新聞社ほか

部門：作刀、刀身彫刻、研磨、外装、押形

会期：令和7年6月8日(土)～8月31日(日)坂城町鉄の展示館（長野県）

令和7年10月31日(金)～11月25日(火)明治神宮宝物殿(東京都)

後援：関係省庁、長野県ほか（予定）

授賞：（特別賞）大臣賞、長野県知事賞、信濃毎日新聞社賞、坂城町町長賞ほか

内容：作刀・彫金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展示すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。また明治神宮を会場とすることで、海外からの来場者を通じ広く世界に対しても広報していく。

作品受付 令和7年4月12日(土)～4月13日(日)

作品撮影 同 4月13日(日)～4月14日(月)

審査会 同 4月16日(水)～4月18日(金)

運営委員会 令和6年12月6日(金)

審査員選考委員会 令和6年12月

審査員会議 令和7年3月14日(金)

授賞式及び懇親会 同 6月8日(土)※会期初日を予定

- ④ 第18回お守り刀展覧会（後援） 主催：全日本刀匠会 <新公1-2>
内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展観
後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等
会場（予定）：備前長船刀剣博物館、坂城町鉄の展示館

2. 公益目的事業（不特定一般向け事業）<新公2-1>

① 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会

- ・公開鑑賞会

開催回数：（予定）年2回

内容：日本刀・刀装具・拵等を、会員に限らず一般にも公開し広く鑑賞して貰う鑑賞の作法を教授したり、作品の解説を通して日本刀文化の普及に努めることとする。併せて、必ず初心者を対象とした解説も加える。

- ・特別鑑賞会（日本刀研究委員会鑑賞会）

開催回数：（予定）春1回の年2回

会場：目白庭園「赤鳥庵」・上野「応挙館」など

内容：会員20名程度とし、日本刀・刀装具・拵等ともに名品を揃え、より専門的な解説を行い目の肥えた刀剣ファンの研究意欲に応えられる内容とする。

- ・坂城町「日本刀講座」

春・秋の年2回開催。日本刀ワークショップ開催。

② 一般及び学芸員のための日本刀講座の開催及び講師派遣<新公2-2>

百貨店販売員・刀剣販売事業者への講師派遣

③ 日本刀に関する国際交流事業<新公2-3>

- ・刀文協台湾支部発足・・・12月11日(水)台北にて開幕式挙行予定
台湾東呉大学を中心に日台の文化交流を計る

④ 鍛錬道場見学会<新公2-4>

- ・15回展日程に組み込んだものを計画。

3. 収益事業

- ・新作日本刀・刀装具等の製作販売及び保存・修理の受託<新収1>

長野市（松代文化施設管理事務所）、まちづくり坂城（坂城町）、紹介及び直接の問い合わせによる研磨・修理など「日本刀お手入れ事業」を行い、百貨店等委託販売先の拡大をはかっていく。

- ・「新作日本刀証明証」発行事業の拡大<新収2>

4. その他

- ・広報活動の強化（刀文協通信やツイッターなどの発信強化、わかりやすさの向上のためHPの改訂）
- ・一般の方からの「発見届」に関する相談に対応する。（電話・Emailによる）
- ・新規会員増強（役員全員での新規会員勧誘及び事業協賛先発掘）

以上